

かがやき

令和4年 3月4日(金)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 18

～「はなしあい」自分の意見と相手の意見のちがいを受け止める～

3月に入りました。季節の変化とともに学年末が見えてきました。世の中を見渡すと新しく気になる世界情勢のニュースが日々の生活の中に多く聞かれるようになりました。「話し合い」で解決できない意見の対立や問題が「暴力」や「武力衝突」という形になって表れる今の世界の現実に立ち尽くし、心がきしみます。私たち一人一人がこの事実をどう受け止め、子供達にも説明していくか考えるところです。

かがやきの指導の一つに「話し合い」の場面があります。自分の意見を相手にわかるように伝える。相手の意見を否定せずに最後まで聞く。その中で自分とちがう意見や感じ方があり、同じにならないこともある。この事実に対し正しく気が付くスキルを身に付けていければと感じます。この社会の中で人は「自分とちがう」に出会う経験が少ないとき、自分とちがう意見を聞くだけで自分が攻撃されていると感じたり、逆に「意見」ではなく相手の「人格」を攻撃したりすることも少なくないようです。(昨今のSNSに代表される課題とも重なります。)

特にその人や社会の文化や歴史。宗教や国情のちがいはより複雑に絡み合い、互いの価値観や利害を主張する声は時に激しさを増していきます。しかし、やはり最後まで「暴力」ではなく、例え口論になったとしても「話し合い＝議論」で解決していける人と人との関係であればと考えます。自分の意見を言葉で伝える。相手の意見を最後まで聞く。そこからお互いの「折り合い」を見つける。昨今の出来事に立ち尽くしながらも、改めて人が安心して安全に豊かに生活していくためにお互いの「ちがい」について知ることの大切さをしっかり考え探求していくことの必要性を強く感じています。

～自分をふり返って見えてくるもの・卒業文集に取り組んだ6年生のかがやき～

今年も6年生の卒業文集の作業が行われました。毎年見ていて驚くのはやはり6年生の「成長」です。自分をどう客観的に振り返り、文章化するのか。最初は「無理!」「終わった!」等の悲鳴も聞こえてきましたが、自分が振り返った内容を一緒に整理して中で充実した取り組みに発展していく光景を見ることができました。「あの時は難しかったけど、今は少し変わることができた。」「この経験が自分に影響を与えた。」「自分を振り返りながらこうした思考にたどり着くことは本当に重要だと考えます。まだまだこれから様々な課題に向き合う季節が続きますが、少しでも6年間で得たと実感できる自分の経験値を自信につなげていって欲しいと思います。

余談・6年生の文集制作の場面で下の学年の子が見ていく機会が何回かありました。「6年生になるとそうだね～1200字くらいかなあ・(先生)」「結構大変だから・(6年生ちょっと優越感)」「すげえ～こんなに小さい字で書くの?(5年生)」「6年生になったら書けるようになるよ!まあ、がんばって(6年生)」というような会話が何回かありました。子ども同士、たて割りの中に見えてくるものがあったようです。

お知らせ

☆3月15日(火)に年度末の保護者を予定しています。

・時間 15:00～ ・場所 かがやき教室

・内容 1年間の指導の振り返り。新年度に向けて。前回行った「発達障害ってなあに?2」でトークセッション形式での意見交換を予定しています。

* 感染対策を行っての実施となります。

* 参加者人数の確認のため、出欠を取ります。右のQRコードを読み取り、出欠をご入力してください。

* 3月4日現在の予定です。予定を変更する場合再度お知らせいたします。